

( 1 ) 工事コストの低減  
建設副産物対策 ( 施策番号 )

他事業発生土砂の空港埋立材としての利用等

中部国際空港空港島用地造成工事

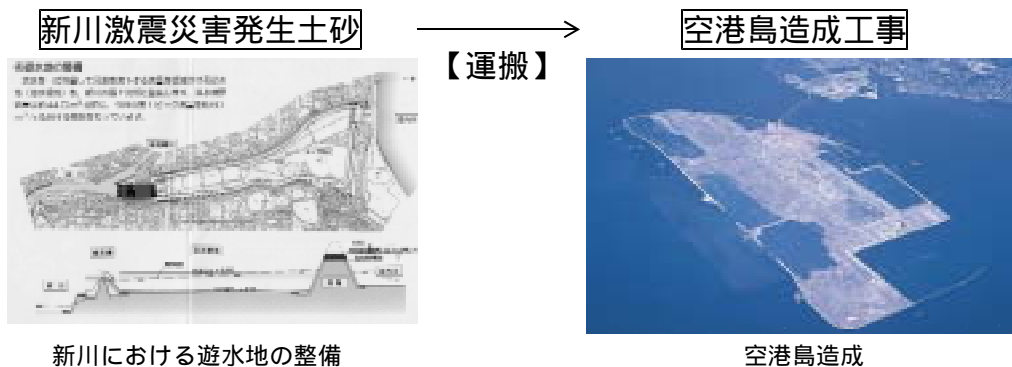
【施策の概要】

- 空港島用地造成工事において、資源の有効利用と環境保全並びに社会貢献の見地から、新川激甚災害対策特別緊急事業で発生する土砂を埋立材として利用しました。  
また、舗装構造の路体・路床を埋立工事と同時に実施することにより、造成工事費の縮減を図りました。

【施策のポイント】

- 平成12年9月、東海豪雨により、愛知県下に大きな被害をもたらしました。特に、名古屋市北部を流れる新川は堤防が破堤し、19km<sup>2</sup>におよぶ浸水被害を出したため、河川激甚災害対策特別緊急事業として河川工事が行われ、掘削残土が発生することから、地域社会に貢献するためにも愛知県からの掘削残土の受入要請を受けて、同事業で発生する土砂を埋立材の一部として有効に活用することとしました。  
掘削土砂を埋立材の一部に使用することで、山土の埋立に比べ低コストの施工が可能であり、リサイクル材利用の観点からも有効な施策です。
- 埋立造成工事の施工手順において、通常完成地盤まで埋立を行うところ、滑走路等の舗装の路体・路床を埋立工事と同時に施工することによって、完成地盤から舗装構造部の路体・路床部の掘削を削減及び埋立材等の削減をすることが出来ました。

【施策の実施状況・イメージ図】



路体・路床及び埋立工事の同時施工

